

タイトル「**2024年度大学院危機管理学研究科(公開用)**」、フォルダ「**大学院危機管理学研究科**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー			
科目名	危機管理学研究演習 I		
担当教員	吉富 望		
対象学年	1年,2年	開講学期	前期
曜日・時限	金 2		
講義室	1211	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	—		
科目中分類	修士		
科目小分類	統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D P コード・学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3(思考力・判断力・表現力)客観的な情報やデータをもとに論理的に考察し説得的に表現する力：40% DP2(学識・専門技能)災害,テロ,国際紛争等,複雑化した現代の様々な危機を分析し解決するための,法学,政治学,国際関係学等の社会科学の知見を統合した応用的な知識と技能：30% DP4(主体性・多様性・協働性)多様な価値観や立場を尊重しつつ,自らの明確な考えをもとに,他者とコミュニケーションを確立する能力：30%		
教員の実務経験	■経験した実務の内容 陸上自衛隊に32年間勤務し、この間、第一線部隊において部隊運用に関わる実務に約11年間従事しました。また、内閣官房内閣情報調査室、防衛省防衛局、防衛省情報本部、陸上幕僚監部といった中央機関で防衛力整備、部隊運用、戦略情報に関わる実務に約11年間従事しました。加えて、防衛大学校、陸上自衛隊研究本部、陸上自衛隊小平学校などで教育及び研究開発の実務に約10年間従事しました。 ■実務経験をどのように活かした授業にするか 陸上自衛隊における実務のプロセスは、研究と同じプロセスです。すなわち、様々なテーマについて問題点を見出し、問題点の背景・原因を解明し、問題点の解決策を案出し、それらに関係者に説明（プレゼンテーション）するというプロセスです。もちろん、陸上自衛隊の実務では多くの場合、研究だけで終わることは無く、案出した解決策を実現するための更なる取り組みが必要でしたが、適切な研究内容とプレゼンテーションが解決策の実現に向けた環境を醸成する上で重要であることは痛感しました。本演習では、この実務経験を生かして研究手法とプレゼンテーションの双方について分かりやすく教育します。特に、研究成果を正しく伝えるためには、聞く人の立場に立ったプレゼンテーションが重要であることを伝えていきます。【第2～15回】		
成績ターゲット区分			
科目概要・キーワード	危機管理学とその基礎となる法学に関する研究活動を実践するために,必要な社会科学的研究手法を学び,学生が自らテーマを設定し,論文を執筆し,成果を発表するための指導を行う。本演習では,危機管理学,法学に関する研究手法の修得,テーマの探求,先行研究の評価,資料の収集とテキスト分析を含む基礎的研究プロセスを扱う。これらの研究プロセスを通じて,学識・専門技能に加え,判断力・思考力・表現力,更には主体性・計画性・協働性等の汎用的能力を開発することを目的とする。授業形式は、演習形式により行います。 なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 危機管理、研究		
授業の趣旨	■副題 自分の興味のあるテーマについて深く研究し、発表してみましよう。 ■授業の目的 論理的な考え方や研究手法、ならびに分かりやすいプレゼンテーション手法を身に付けることを目的とします。 ■授業のポイント 本演習では、論理的なプロセスを踏まえた考え方や研究手法を身につけるため、研究テーマについて①問題点の明確化、②問題点の背景・原因の解明、③問題点の改善策の案出の三つの段階に分けてプレゼンテーションを行います。		
総合到達目標	■一般総合目標（GIO） 論理的な考え方や研究手法を身につけるため、テーマを選定し、知見を獲得し、問題点を見出し、問題点の背景・原因を解明し、問題点の解決策を論理的なプロセスで案出する方法を理解する。また、研究結果を分かりやすくプレゼンテーションする能力を高めるため、聞く人の立場に立ったプレゼンテーションを行う態度を身につける。 ■個別行動目標（SBOs） SBO1 5～10分間でプレゼンテーション可能なテーマを選定できる。（第2～15回） SBO2 先行研究などのプレゼンテーションに必要な知見を得ることができる。（第2～15回） SBO3 問題点を見出し、問題点の背景・原因を解明し、問題点の解決策を論理的なプロセスで案出することができる。（第2～15回） SBO4 聞く人にとって分かりやすいプレゼンテーションスライドを作成することができる。（第2～15回） SBO5 聞く人の注目を集める話しぶり、身振り、手ぶりができる。（第2～15回）		
成績評価方法	■研究発表×6回(50%)：対応コンピテンス DP2, DP3, DP4 （評価の観点）テーマ選定、問題抽出、問題の原因・背景の解明、問題の解決策案出のプロセスが根拠を持って論理的に分かりやすく説明されているかを問います。 （フィードバックの方法）各人の発表後に問答しながら指導します。 ■リアクション・ペーパー×6回(10%)：対応コンピテンス DP2, DP3, DP4 （評価の観点）他の学生の発表内容を的確に認識し、発表要領に対する建設的なコメントなどを適切に記載しているかを問います。 （フィードバックの方法）次回の発表の際に教員が前回のリアクション・ペーパーに対するコメントを述べます。 ■研究レポート×6回(10%)：対応コンピテンス DP2, DP3, DP4		

	(評価の観点) 研究にあたって収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを適切に記載しているかを問います。 (フィードバックの方法) 次回の発表の際に教員が前回の研究実施レポートに関するコメントを述べます。 ■授業参加度(発言等)×7回(10%):対応コンピテンス DP2, DP3, DP4 (評価の観点) 積極的かつ論理的に発言しているかを問います。 (フィードバックの方法) その場で応答します。	
履修条件	なし	
履修上の注意点	※※※ 海外出張中の小谷賢先生の代講となります ※※※	
授業内容	回	内容
	1	① 授業テーマ: 導入教育 ② 授業概要 (1) 教員の自己紹介 (2) 演習の全般説明 ・ 演習の目的、内容、スケジュール ・ 成績評価要領 (3) 研究手法及びプレゼンテーションの基礎 課題解決型の研究における手法(プロセス)ならびにプレゼンテーション要領について確認する。(DP2、DP2、DP4) (4) 研究課題の付与 ・ 課題① 「〇〇に関する研究」(〇〇は学生が決定) 課題①-1 「〇〇における問題点」 課題①-2 「〇〇における問題点の原因・背景」 課題①-3 「〇〇における問題点の改善策」 ・ 課題② 「△△に関する研究」(△△は学生が決定) 課題②-1 「△△における問題点」 課題②-2 「△△における問題点の原因・背景」 課題②-3 「△△における問題点の改善策」 ③ 予習(120分) これまでに勉強した研究手法(プロセス)及びプレゼンテーション要領について再確認する。 ④ 復習(120分) 授業で教育された研究手法(プロセス)及びプレゼンテーション要領について再確認する。
	2	① 授業テーマ: 課題①-1 「〇〇における問題点」 ② 授業概要 ・ 次回授業での課題①-1の発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成などができるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ 研究レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出する。 ・ (フィードバック方法) 次回の授業中にコメントする。 ・ 必要に応じて、担当教員が実務経験に基づく助言を行う。 ③ 予習(120分) 課題①-1の研究を行う。 ④ 復習(120分) 研究で得られた学びを再確認する。
	3	① 授業テーマ: 課題①-1 「〇〇における問題点」 ② 授業概要 ・ 課題①-1の研究発表(各人5~10分程度、パワーポイント使用): 自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションできるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ (フィードバック方法) 授業中にコメントする。 ・ 担当教員が実務経験を踏まえコメントする。 ・ 授業後にリアクションペーパーを提出する。 ③ 予習(120分) 課題①-1の発表準備を行う。 ④ 復習(120分) 発表で得られた学びを再確認する。
	4	① 授業テーマ: 課題①-2 「〇〇における問題点の原因・背景」 ② 授業概要 ・ 次回授業での課題①-2の発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成などができるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ 研究レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出する。 ・ (フィードバック方法) 次回の授業中にコメントする。 ・ 必要に応じて、担当教員が実務経験に基づく助言を行う。 ③ 予習(120分) 課題①-2の研究を行う。 ④ 復習(120分) 研究で得られた学びを再確認する。
	5	① 授業テーマ: 課題①-2 「〇〇における問題点の原因・背景」 ② 授業概要 ・ 課題①-2の研究発表(各人5~10分程度、パワーポイント使用): 自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションできるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ (フィードバック方法) 授業中にコメントする。 ・ 担当教員が実務経験を踏まえコメントする。 ・ 授業後にリアクションペーパーを提出する。 ③ 予習(120分) 課題①-2の発表準備を行う。 ④ 復習(120分) 発表で得られた学びを再確認する。

6	① 授業テーマ：課題①－３「〇〇における問題点の改善策」 ② 授業概要 ・ 次回授業での課題①－３の発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成などができるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ 研究レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出する。 ・ (フィードバック方法) 次回の授業中にコメントする。 ・ 必要に応じて、担当教員が実務経験に基づく助言を行う。 ③ 予習 (120分) 課題①－３の研究を行う。 ④ 復習 (120分) 研究で得られた学びを再確認する。
7	① 授業テーマ：課題①－３「〇〇における問題点の改善策」 ② 授業概要 ・ 課題①－３の研究発表(各人５～１０分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションできるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ (フィードバック方法) 授業中にコメントする。 ・ 担当教員が実務経験を踏まえコメントする。 ・ 授業後にリアクションペーパーを提出する。 ③ 予習 (120分) 課題①－３の発表準備を行う。 ④ 復習 (120分) 発表で得られた学びを再確認する。
8	① 授業テーマ：課題②－１「△△における問題点」 ② 授業概要 ・ 次回授業での課題②－１の発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成などができるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ 研究レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出する。 ・ (フィードバック方法) 次回の授業中にコメントする。 ・ 必要に応じて、担当教員が実務経験に基づく助言を行う。 ③ 予習 (120分) 課題②－１の研究を行う。 ④ 復習 (120分) 研究で得られた学びを再確認する。
9	① 授業テーマ：課題②－１「△△における問題点」 ② 授業概要 ・ 課題②－１の研究発表(各人５～１０分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションできるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ (フィードバック方法) 授業中にコメントする。 ・ 担当教員が実務経験を踏まえコメントする。 ・ 授業後にリアクションペーパーを提出する。 ③ 予習 (120分) 課題②－１の発表準備を行う。 ④ 復習 (120分) 発表で得られた学びを再確認する。
10	① 授業テーマ：課題②－２「△△における問題点の原因・背景」 ② 授業概要 ・ 次回授業での課題②－２の発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成などができるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ 研究レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出する。 ・ (フィードバック方法) 次回の授業中にコメントする。 ・ 必要に応じて、担当教員が実務経験に基づく助言を行う。 ③ 予習 (120分) 課題②－２の研究を行う。 ④ 復習 (120分) 研究で得られた学びを再確認する。
11	① 授業テーマ：課題②－２「△△における問題点の原因・背景」 ② 授業概要 ・ 課題②－２の研究発表(各人５～１０分程度、パワーポイント使用)：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションできるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ (フィードバック方法) 授業中にコメントする。 ・ 担当教員が実務経験を踏まえコメントする。 ・ 授業後にリアクションペーパーを提出する。 ③ 予習 (120分) 課題②－２の発表準備を行う。 ④ 復習 (120分) 発表で得られた学びを再確認する。
12	① 授業テーマ：課題②－３「△△における問題点の改善策」 ② 授業概要 ・ 次回授業での課題②－３の発表に向けた資料収集・整理、発表内容の取り纏め、パワーポイント作成などができるようになる。(DP2、DP2、DP4) ・ 研究レポートに収集した情報、研究上の不明点・課題、研究で得られた学びなどを記入し、当日中に提出する。 ・ (フィードバック方法) 次回の授業中にコメントする。 ・ 必要に応じて、担当教員が実務経験に基づく助言を行う。 ③ 予習 (120分) 課題②－３の研究を行う。 ④ 復習 (120分) 研究で得られた学びを再確認する。

	13	① 授業テーマ：課題②－３「△△における問題点の改善策」 ② 授業概要 ・ 課題②－３の研究発表（各人５～１０分程度、パワーポイント使用）：自ら選定したテーマを研究し、発見したと論理的な思考事実に基づいて主要な問題点を明らかにし、それを口頭及びパワーポイントで分かりやすくプレゼンテーションできるようにする。（DP2、DP2、DP4） ・ （フィードバック方法）授業中にコメントする。 ・ 担当教員が実務経験を踏まえコメントする。 ・ 授業後にリアクションペーパーを提出する。 ③ 予習（１２０分） 課題②－３の発表準備を行う。 ④ 復習（１２０分） 発表で得られた学びを再確認する。
	14	① 授業テーマ：修士論文研究計画（検討） ② 授業概要 ・ 問題認識について取り纏めることができるようになる。（DP2、DP2、DP4） ・ 教員の实務経験を踏まえて質問等に対応します。 ③ 予習（１２０分） 問題認識について検討する。 ④ 復習（１２０分） 研究で得られた学びを再確認する。
	15	① 授業テーマ：修士論文研究計画（発表） ② 授業概要 ・ 問題認識について発表できるようになる。（DP2、DP2、DP4） ・ 教員の实務経験を踏まえて質問等に対応します。 ③ 予習（１２０分） 発表準備を行う。 ④ 復習（４０分） 発表で得られた学びを再確認する。
関連科目	無し	
教科書	無し	
参考書・参考URL	無し	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先：第１回授業で告知します。 ■オフィスアワー：金曜日昼休み。不在の場合もあるので、事前にメール等でアポイントメントを取ることをお勧めします。	
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント５％：パブリックセキュリティ５％：グローバルセキュリティ８５％：情報セキュリティ５％ ■危機管理学と法学のバランス 危機管理学９０％：法学１０％	

